



す 舞 る

special support smile 舞鶴

発行：京都府立舞鶴支援学校 地域支援センター「トータルサポートセンター（TSC）」

◇ 住所：〒624-0812 京都府舞鶴市字堀4の1 ◇ 電話：0773-78-3133 ◇ FAX：78-3135

令和2年度 相談活動のまとめ

今年度も舞鶴支援学校地域支援センター「トータルサポートセンター（TSC）」の活動に御理解と御協力をいただきありがとうございました。TSCでは、教育の相談機関として障害に起因する子どもの様々な困難についてどうしたらよいのか保育所・幼稚園、学校の先生方と一緒に考え、相談支援を行ってきました。以下、1月末現在の活動のまとめを報告します。

また、今年度はコロナ感染防止による休校もあり、TSCの活動も変更を余儀なくされてきましたが、関係機関と連携しながら、相談活動、特別支援連携協議会、合同研修会等を実施してきました。

また、舞鶴市教育委員会、健康・子ども部子ども支援課と三者共催で合同研修会を実施しました。特別支援教育コーディネーターを中心に延べ63名の参加でした。

次年度も舞鶴地域の特別支援教育推進、ニーズに応えるTSC活動を行っていきますのでよろしくお願い致します。

TSC活動の中間報告

1月末現在で教育相談の延件数は214件、その内新規は126件でした。内訳は以下のとおりです。

新規相談の校種別件数

就学前	小学校	中学校	高等学校	その他
10	51	16	4	45

新規教育相談の主たる相談内容の件数

学習	生活・コミュニケーション	就学・進路	その他
39	41	1	45

相談の形態は巡回教育相談が86%、来校相談が5%、電話相談が9%でした。

舞鶴支援学校特別支援連携協議会

10月21日に「舞鶴支援学校地域特別支援連携協議会」を開催しました。この会では舞鶴市の特別支援教育を総合的に推進するために関係機関の連携・協働の強化につなげるための協議を行っています。教育だけでなく医療・保健・福祉・労働の各機関、保護者で構成し、各機関が行っている支援の情報を共有するなど、今後必要な連携について意見交換をしています。

テーマ ～本人の障害理解、保護者の障害受容～

今回は、「本人の障害理解、保護者の障害受容」をテーマに、障害者生活支援センターみずなぎとハローワークから、卒業後の福祉や、企業就労における支援の現状と課題について報告を受けて、協議をしました。

障害者生活支援センターみずなぎからは、生まれてから卒業し社会生活に至るまでに子どもも保護者も障害理解、障害受容という面ではいくつもの壁（ハードル）があり、特に中学校から高校は大きな分岐点であることや、軽度の知的障害や発達障害に加え、思春期による精神の不安定さについても理解する必要があること。また、学校教育を受けている間に社会の中で生きていくために何が必要かという視点をもった関わり方が大事であると話されました。さらに、学齢期で障害受容ができれば、支援者と社会生活支援の伴走ができると、関係機関のネットワークの大事さについて報告いただきました。

ハローワークからは、京都府や舞鶴市における障害者の求職・雇用状況の推移や雇用の際の助成制度、ジョブコーチなどの支援策、定着支援のための情報共有ツールである「就労パスポート」等について情報提供を受けました。一般の従業員を対象にし、職場における応援者（精神・発達障害者しごとサポーター）を養成する講座を実施されており、企業側にも入社した社員を大切にしたい、理解したいという思いをもっていており、参加者も増えてきているという報告がありました。就職し、実際に勤務する中では、新たな悩みも出てきますが、関係機関と連携しながら定着支援に努めているという報告をいただきました。

その後、参加の委員からの質問や互いの取組等、意見交換をし、本人や保護者の障害理解・障害受容の過程に関わりながら、各機関で切れ目ない支援を進めている現状・課題や機関連携について協議をしました。子どもたちへの支援は、支援がうまく進んだと思っても、次のステージで環境が変わり、困難さが顕著になる場合があります。各機関がそれぞれの役割の中での的確な助言をすることこそ、受容が可能となるとの報告もありました。関係機関が互いの取組を知り、その専門性を生かし、連携・協働して、保護者・本人のニーズに応じた切れ目ない支援を進めていけるよう、今後も取り組んでいきたいと思えます。

特別支援教育合同研修会 ～ステージ間移行～

舞鶴市の特別支援教育合同研修会（舞鶴市教育委員会、健康・子ども部子ども支援課、舞鶴支援学校共催）を11月6日に行いました。特別支援教育コーディネーターを中心に延べ63名の参加でした。今年度はテーマを「ステージ間移行」とし、乳幼児教育センター 飯田美和主任より「就学前に大切にしていること」、TSCの丸山亜希子地域支援コーディネーターより「ステージ間移行で大切にしたいこと」について講義を行いました。

参加者からは、「一人一人の発達に合わせること、人との信頼関係、安心、安定など就学前で大切にしておくべき視点やキーワードがあり、改めて明日からの実践に生かしていきたいと感じた。」「ステージ間の移行は、支援の必要な子どもたちにとってハードルが高い。スムーズな移行ができるようにコーディネーターとして、校内支援体制を整えていきたい。」等、たくさんの感想をいただきました。それぞれのライフステージで校（園）内支援体制のもと、しっかり実態把握をすることに力点を置き支援を積み上げていくこと、そして、就学前から小学校、中学校、高校へとつなぎ、切れ目ない支援をしていくことの大切さとその要となるコーディネーターの役割の重要性について学ぶことのできる大変良い機会となりました。今後も、関係機関との連携の一つとして、トータルサポートセンターを御活用ください。

